

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 100 号

発行日 令和 6 年 9 月 30 日

発行人 白 石 直 人

TEL・FAX 026-244-5165

「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」開催される

昭和26年に発足した“社会を明るくする運動”は発足当時の矯正保護思想の普及を目的とした啓発活動から地域住民を主体にした犯罪や非行のない明るい社会づくりのための実践活動へと進展し今年で74回目を迎えます。



【若槻大通り交番
廣瀬所長の報告】

浅川地区では運動強調月間の7月27日（土）「浅川地区住民のつどい」が開催され、若槻地区の保護司会も含めて80名余のみなさんが参加しました。

最初に若槻大通り交番の廣瀬昭博所長による「浅川地区における最近の犯罪情勢について」の報告が行われました。特に最近も被害が増え続けている「電話でお金詐欺（特殊詐欺）」についての被害状況の報告があり（下記参照）、更に現在社会問題化している「SNS投資・ロマンス詐欺」について、実際の詐欺電話のやりとりを紹介しながら注意喚起がなされました。

＜今年5月末時点の長野県における被害件数＞

「電話でお金詐欺」⇒ 件数102件（前年比+30件）、被害額3億3千万円（同+5千万円）

「SNS投資・ロマンス詐欺」⇒ 件数65件（前年比+56件）、被害額8億2千万円（同+7億円）

講演では法務省長野保護監察所長の大谷治子さんの「犯罪と非行の防止と、立ち直りを支える地域の力」と題する講演が行われました。

「なぜ、仮釈放で早く刑務所から出すの？」、「なぜ、犯罪を犯した人を支援しなければならないの？」、「犯罪を犯した人が困るのは自業自得なのでは？」など「更生保護」に対してなされる様々な質問を入口に、「罪を犯した人は社会に帰って来ること」そして「罪を犯した人の立ち直りを支援し、再犯を防止することは国民全体、社会全体の安心安全につながっている」として、更生保護制度の意味、それを担う人・組織（保護司・更生保護施設・協力雇用主・更生保護女性会・BBS会等）、更生保護の目的や機能・具体的な内容についてわかりやすく丁寧に説明がなされました。講演の後、浅川の保護司のみなさんが加わり、実際の保護司活動の様子や体験を語るパネルディスカッションが行われました。

6月に保護司が担当する保護監察対象者だった人物に殺害されるという痛ましい事件が発生したこともあり、日常的には触れる機会のない保護監察の仕事の大切さを実感した会となりました。



【大谷治子所長の講演】



【浅川地区の保護司会が加わりパネルディスカッション】



【会場風景～質疑も活発！】

「浅川ダム祭り」・浅川ダム展望広場愛護会「夏の農産物祭り」開催される！

7月28日（土）浅川ダム展望広場において、例年より1週間遅らせて第8回浅川ダム祭り・「夏の農産物祭り」直売が開催されました。

野菜や果実が少ない時期なので1週間遅らせた効果もあったようで、直売所には沢山の種類の野菜・果実・加工品等が並びました。桃・ブルーベリー・プラム等の果実類、ぼたんこしょう・ジャンボピーマン・なす・きゅうり・玉ねぎ・じゃがいも・枝豆・キャベツなど夏野菜、はちみつ・破竹の水煮・きょうろぶき・りんごジュース・ジャム・漬物などの加工品に加えて、1匹10円のクワガタ虫は訪れた子どもたちに大人気でした。また今回も北部中学校から職場体験学習の一環としてボランティアの生徒さんが参加して直売のお手伝いをしてくれました。

アトラクションではすっかり恒例となった“すてぃーるぱんだ🐼”（代表は社協福祉ワーカーの吉永いつみさん）のスティールパン演奏があり、来場者も手拍子をとったりして会場は大いに盛り上がりしました。

浅川ダムではダム見学会や高所作業車等“働く車”の展示やドローン操縦体験、キッチンカー出店など多彩な催しが行われました。また来場者にはダムカードや浅川ダムのキーホルダーが配られました。



愛護会直売「夏の農産物祭り」



「スティールパンダ🐼のスティールパン演奏」



恒例となった
スティールパン
演奏
マツケンサンバ
にみなさん
大盛り上がり！

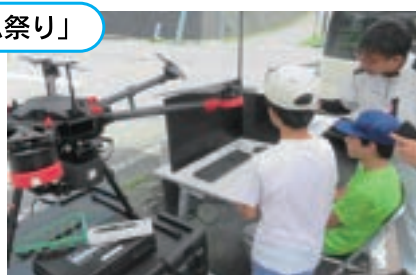


みなさんの協力で
沢山の野菜・果実
が揃いました。
10円で“小さい”
詰め放題やクワガ
タ虫も10円で好評
でした！

来場者に配られた
キーホルダー・
缶バッジ



高所作業車等“働く車”の展示



ドローン操縦体験



キッチンカーも出店しました！



浅川地区市民運動会 開かれる！



9月8日（日）浅川地区市民運動会が約350名の区民の参加で開催されました。区として参加したのは10地区でしたが、そのほかの地区の役員さんも総出で運動会の運営に当たりました。

まだまだ蒸し暑い日でしたが、時折吹く風には秋の気配も感じられる中、ラジオ体操で体をほぐし、小学校児童競争・ゲートボールリレー・満水リレー・手のひらバランス棒リレー・イス取りゲーム・玉入れの6競技に熱戦が繰り広げられました。

各地区のテントを覗いてみると、語らいながら観戦する大勢の区民の皆さんの笑顔が溢れ、規模は縮小したとはいえ区民が一堂に会する運動会開催の意義を改めて感じました。

（教育文化部会・浅川地区公民館連合会）

【運動会結果】	第1位	浅川押田公民館
	第2位	伺去公民館
	第3位	浅川西条公民館



【選手宣誓で開会】



【ラジオ体操】



【小学校児童競争】



【上手く転がれよう！
ゲートボールリレー】



【焦るな焦るな！満水リレー】



【手のひらバランス棒リレー】



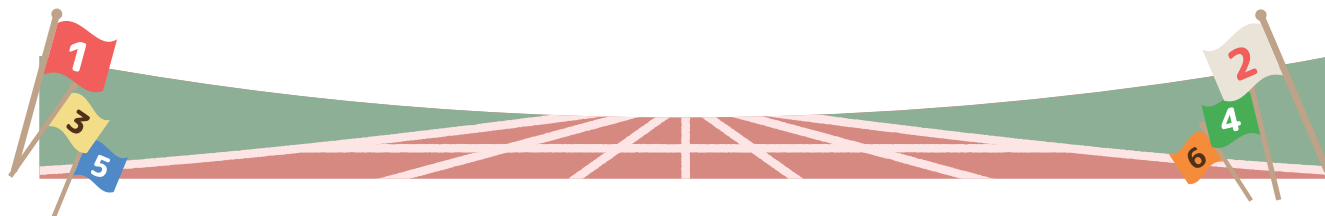
【熾烈な戦い、椅子取りゲーム】



【地区対抗の玉入れ】



【第1位は押田
～連覇おめでとう！】



ブランド薬師（八櫛神社）社殿の修復に向けて

7月30日（火）八櫛神社保存会では徐々に傷みが進んでいる八櫛神社社殿について、今後のいずれかの時期に必要となると予想される修復に向けて調査を行いました。

当日は保存会長の宮澤重徳さん、小川事務局長、宮澤工務店の担当が社殿の状況や修復が必要な箇所の調査をしました。調査に基づいて概算見積もりをする予定です。

今後、10月に予定されている荻原市長の浅川訪問の際に市の文化財助成を要請するとともに、浅川地区全体での寄付活動等も合わせて費用面の検討をして、改修実現に向けて進みたいと考えています。

なお、社殿を訪問した人たちが感想等を記入する記帳台を作成設置しました。（八櫛神社保存会）



【記帳台】



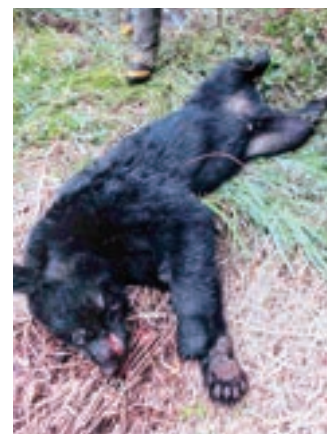
【社殿内部の修復の必要な箇所を調査し、修復費用の見積もりを依頼しました！】

スパイラル入口の畑に熊！～今年は多いので注意を！～

7月14日（月）中曽根に設置されたワナに熊がかかっていました。発見した方からの通報を受け、猟友会が市いのしか対策課等に連絡した後、捕殺許可を得て射殺したとのこと。

熊は体重80kg、体長2m強のオス、足は幅12cm、長さ18cm。

鶴田敏光浅川猟友会長（伺去）によると、この熊が捕らえられた1～2日後にも、スパイラル管理棟付近で目撃があった、今年は坂中、北郷でも目撃されるなど出現情報が多いので注意してほしいと語っていました。



消防団浅川分団の規律訓練行われる！

8月25日（日）浅川公民館分室で消防団浅川分団の規律訓練が行われました。

訓練に参加した団員は30名余。3班に分かれて行った規律訓練では整列、敬礼、回れ右等のかけ声と共に足や手の位置等細かくチェックしながら繰り返し訓練が行われました。訓練に初めて参加した3名の団員も緊張した様子でそれぞれの動作に取り組んでいました。また鶴賀消防署若槻分署の隊員が消火ホースの伸ばし方、巻き取り方などの指導を行いました。

現在、浅川分団は団員74名、今年入団した方が1名です。地域防災の要としての消防団員のみなさんにエールを送ります。



【規律訓練～初めて参加した団員は緊張気味！】



【若槻分署の指導で消火ホースの扱い方を熱心に学びました！】

身体の声に耳を傾ける ～“健康アップ術教室”・“健康食講座”開催



【健康アップ術教室（8/28）の様子～（右）は“骨密度測定”】



【健康食講座（7/11）の様子】

健康委員会では「体と対話しながらほぐしたり、伸ばしたり、整えたりしましょう！」と年間を通して様々な活動をしています。

6月19日（水）“健康アップ術教室”と血管年齢測定、7月11日（木）“健康食講座”、8月28日（水）“健康アップ術教室”と骨密度測定が行われました。10月2日（水）には“健康アップ術教室”と体組成測定等が予定されています。

各回、申し込み不要なのでみなさんふるってご参加ください。

※お問い合わせは各区健康委員まで

（福祉健康部会 健康委員会）

長野市霊園でゴマシジミの保護パトロール行われる！



【パトロールの様子】



【ワレモコウに止まるゴマシジミ】

浅川各地区の区長さんが中心となって絶滅危惧種の蝶ゴマシジミの保護を目的とした早朝パトロールをゴマシジミが飛び回る夏の時期に行いました。元長野市霊園事務所の徳永昭行さんの指導のもと密猟者対策と合わせて、ゴマシジミの生息地の環境状況を確認しました。

今年もゴマシジミは8月初旬から姿を現し、多い時には20数頭が確認されました。また浅川小学校とあさかわ花❀花隊が花壇で育て霊園に移植されたワレモコウも育っています。

地区内外問わず誰かが守っていかなくては、ゴマシジミの生息は絶えてしまいます。

今後とも保護活動継続へのご協力をお願い致します。

（地域活性化推進員 下村 守昭）

社会福祉協議会コーナー

共に生きる



ふれあい会食会を開催しました

「夏のふれあい会食会」が、おひとり暮らしのご高齢の方をお招きして開催されました。ふれあい会食会では、集まった皆さんと共に世代間交流と食事を楽しんでいます。

今回は浅川小学校3学年児童の歌とリコーダー演奏を鑑賞し、新聞紙を使ったレクリエーションで交流しました。レクでは子供も大人も夢中になり、立ち上がって歓声をあげるほど盛り上がりました。

浅川社会福祉協議会では浅川地区民生委員児童委員協議会・福祉推進員会・赤十字奉仕団浅川分団と連携し、年2回の会食会を実施しています。

これからも地域のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



11ひよりの会

6月から新しい事業が始まりました！

毎月11日（8月を除く）に浅川支所会議室で開催している「11ひよりの会」は地域のみなさんがどなたでも参加できる集いの場です。おしゃべりを楽しむのも良し！健康や福祉に関する相談をするのも良し！月ごとのテーマに沿った商品やサービスの紹介コーナーも設けられています！

お気軽にお出かけください♪

お手紙大作戦

浅川社会福祉協議会では、ひとり暮らしのご高齢の方に宛てたお手紙と折り紙飾りを年に2回お送りしています。今回はスイカとアサガオの飾りです。お手紙にはスイカに関するちょっとした豆知識が添えられています。

お手紙や折り紙は有志のみなさんによる手書き・手作りです。活動にご興味のある方は浅川社会福祉協議会（☎262-1362）にご連絡ください。



ふくちゃん号ユニフォームが 新しくなりました

浅川地区で運行している福祉自動車「ふくちゃん号」の運転協力会員が着用しているユニフォームが新しくなりました。

運行の際、協力会員は季節に合わせて半袖・長袖・ジャンパーを着用しますが、必ず「浅川たすけあい」と印刷されたオレンジ色の上着と帽子を身に付けています。医療機関で浅川地区の運転手さんが見つけやすく、安心ですね。



ご寄付・ご協力ありがとうございます

長年、浅川ゆうわ祭で活動していらっしやっ
まるきんかい
た「**金**会」のみなさまより、福祉自動車運
行費用のためにご寄付をいただきました。また
北郷区、大池南にお住いの方が地域たすけあい
事業賛助会員になってくださいました。ご協力
に感謝申し上げます。

地域たすけあい事業では、賛助会員を募集して
います。1口1,000円からの地域支援です。
いただいた会費は全額が浅川地区たすけあい事
業の運営に使われます。

申込先：たすけあい事業コーディネーター 野口

☎263-3365 まで

浅川にワインの風を！

【地域おこしの現場から vol.12】

8月下旬、日中はまだまだ暑いですが、朝晩の気温は下がり、日暮れも早くなり、季節が秋へ移行しているのを感じます。

軟化し色づきを開始したブドウ果実たちの、いよいよ収穫が近づいてきました。



【色づき始めたブドウの実たち】

今年は9月下旬から10月中旬頃の間、品種ごと少量ずつ収穫を行う予定です。

そして今秋開業予定の醸造所ですが、建物の改修工事は竣工し、醸造機器も入り、税務署の確認も無事に終わりました。9月に保健所の立ち会い検査が行われ、問題なければ9月中旬以降に酒造免許が交付される予定です。念願の初醸造へ向けて良いブドウが収穫出来るよう最後までしっかりと作業していきたいと思います。

引き続き浅川の皆様のご声援を何卒よろしくお願い致します。

(長野市浅川葡萄農園 園主

宋 裕光 (同去)



【いよいよ今秋開業！ 浅川ワインの醸造所（ワイナリー）

～9月中旬には酒造免許交付予定】

～ 浅川小学校じゃがいも植付け体験学習 ～

8月23日（日）、4月に3年生2クラス45名の子ども達が坂中の有遊農地に植付けたジャガイモの収穫を行いました。子どもたちは坂中地区のみなさんの協力を得ながら、見事に実ったじゃがいもを歓声を挙げながら掘り出しました。

「地域に開かれた学校」の方針の下、浅川地区では多くの関係するみなさんのご支援とご協力で、子どもたちに授業だけでは得られない学習の機会を提供しています。



【(左)説明を受け、(右)それぞれの名札をつけた所を掘りました！

⇒坂中地区のみなさん、ありがとう！】

その他の主な事業・活動

☆浅川地区防災訓練（災害対策本部） 9月28日（土）

※記事・次号

＜今後の予定＞

☆浅川地区戦没者追悼式（実行委員会主催） 10月5日（土）

☆「ながの未来トーク」（市長視察・懇談） 10月23日（水）

☆第42回浅川ゆうわ祭（地区公民館連合会） 11月3日（日）

☆秋の史跡めぐり（浅川公民館） 11月9日（土）

広報委員から

広報誌「せせらぎ」100号発行記念特別号発刊について

浅川地区住民自治協議会の広報誌「せせらぎ」が今年9月末発行で100号となります。

平成19年4月21日に住民自治協議会が設立、それを受けて6月30日に第1号が発行されて以降、浅川地区における住自協始め諸団体・グループの活動や地区の行事、出来事を伝えてきました。ここにいたるまでにご尽力いただいた広報委員の皆さんはじめ関係する全てのみなさんに感謝を申し上げます。

今回、100号発刊を記念して『広報誌「せせらぎ」100号発行記念特別号』を10月末に発刊する予定です。

当初、住自協とはどのような組織か、どんな活動をするのか、役員の皆さんも手探りの中で、できるだけわかりやすく住民の皆さんに住民自治協議会活動を伝えようと発刊された「せせらぎ」です。発刊当初の2ページから4ページ、そして現在の8ページに掲載内容も多彩に充実、加えて近年はカラー化をはかり、より見やすく読みやすく親しみのある誌面になっています。

「100号発行記念特別号」には各号に掲載された記事一覧表・各号の主要ページを掲載、また歴代住民自治協議会長からの寄稿文で構成しています。これまでの15年間の歩みの記録としてご覧頂けたら幸いです。



「せせらぎ」第1号

2024（令和6）年度 広報委員会